第7講 【中世編】中世ヨーロッパの成立
PART2 カトリック教会とフランク王国

Chapter 1　ローマ＝カトリック教会の発展

目標
ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会の勢力関係を考えよう。
ローマ＝カトリック教会はなぜ教皇領を獲得できたのだろうか。

1　ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会

キリスト教がローマ帝国の国教となり，帝政末期には５つの管区に分けて信徒を管理へ
→大司教が置かれた５管区の教会（**ローマ**，**コンスタンティノープル**，**アンティオキア**，**イェルサレム**，**アレクサンドリア**）を**五本山**という
→ギリシア語が典礼用語
①［　　　　　　　　　　　　　　　　］
使徒**ペテロ**の後継者を自認し，ローマの司教は［　　　　］（法王）を自称
②［　　　　　　　　　　　］（コンスタンティノープル教会）
ビザンツ帝国（東ローマ帝国）の保護の下に発展，次第に教会の**首位権**を争うように
③ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会
A　ゲルマン人の移動によって西ローマ帝国が滅亡
→イタリアはオドアケルの国，東ゴート王国，ランゴバルド王国というゲルマン人諸国の支配を受け，ローマ＝カトリック教会も弱体化
B　ゲルマン人の移動による影響も少なく，繁栄を続けたビザンツ帝国の保護下にあるギリシア正教会が優勢になった
※６世紀の**ユスティニアヌス大帝**はかつてのローマ帝国の領土を再現し，『ローマ法大全』を編さんするなど帝国の権威を高め，首都コンスタンティノープルに**ハギア＝ソフィア大聖堂**を再建して総主教座を置いた。

2　カトリック教会の発展

ゲルマン人の移動によって建てられた諸国は多くがニケーア宗教会議（325年）で異端とされたキリスト教**アリウス派**を信仰した。
496年　フランク王国の建国者の**クローヴィス**は正統教義の**アタナシウス派**に改宗し，ロー

マ＝カトリック教会との関係を深めた

6 世紀末　ローマ教皇**グレゴリウス１世**はゲルマン人への布教に努め，アングロ＝サクソン人の改宗に成功

726 年　ビザンツ皇帝**レオン３世**が教会で聖像を崇拝することを禁止する，〔　　　　　　　　　　〕を発布

※聖人の立体像や画像（**イコン**）を礼拝する行為はローマ＝カトリック教会でもギリシア正教会でも行われていたが，偶像崇拝を禁じたキリスト教の初期の教理に反すると考えられたこと，同様に偶像崇拝を禁じるイスラームからの批判に応えるためだった。

→ゲルマン人への布教に聖像を利用していたローマ＝カトリック教会は反発，東西教会の対立が深まる

3　カトリックとフランク王国の接近

ビザンツ帝国と結びついたギリシア正教会との対立を深めたローマ＝カトリック教会は，政治権力を求めてフランク王国に接近した。

①フランク王国宮宰のカール＝マルテルの子**ピピン（小ピピン）**の〔　　　　　　　　　　〕創始をローマ教皇が容認

②ローマ教皇はピピンより**ラヴェンナ地方**の寄進を受ける

→初の**教皇領**となる

③ピピンの子である〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が西ヨーロッパを統一

→ 800 年に教皇〔　　　　　　　　〕は**カール**に**ローマ皇帝**の帝冠を授けた（**カールの戴冠**）

「西ローマ帝国の復活」 ローマ帝国の伝統とゲルマン人，ローマ＝カトリックが融合

まとめ

ローマ＝カトリック教会に対して，東ローマ皇帝を後ろ盾にしたギリシア正教会が優勢だった。

カロリング朝の創始者ピピンからラヴェンナ地方の寄進を受け，教皇領が成立した。

Chapter２　フランク王国の発展とカール大帝

目標　メロヴィング朝のクローヴィスがアタナシウス派に改宗した理由について学ぼう。
カロリング朝のカールは，なぜローマ教皇から戴冠を受けたのだろうか。

1　メロヴィング朝の盛衰

481 年　〔　　　　　　　　〕が**フランク王**に即位し〔　　　　　　　　〕を開く

①小国に分立していたフランク人を統一

②クローヴィスは正統教義の〔　　　　　　　　〕に改宗し，ガリアのローマ人を取り込む

③フランク王国は領内のローマ貴族の支持を得て，西ヨーロッパの中心に

6 世紀半ば　**ブルグンド王国**などを滅ぼして全ガリアを統一

732 年　西ゴート王国を滅ぼしてイベリア半島から侵入した**ウマイヤ朝**イスラーム軍を〔　　　　　　　　〕で撃退

→戦いで活躍した宮宰の〔　　　　　　　　〕がフランク王国の実権を握り，**カロリング家**が台頭

2　カロリング朝の成立とカトリック教会

751 年　**カール＝マルテル**の子〔　　　　〕（小ピピン）が，ローマ教皇の支持を得て**カロリング朝**を開き，フランク国王となる

756 年　ピピンはランゴバルド王国から獲得した**ラヴェンナ地方**を教皇に献上（「**ピピンの寄進**」）

→ローマ教皇との関係を深めた

3　カール大帝の戴冠

ピピンの子**カール大帝**（シャルルマーニュ）（在:768 年～ 814 年）は積極的な外征で西ヨーロッパの大部分を統一。

①教皇と対立していた**ランゴバルド王国**を滅ぼす

②北方のゲルマン人一派**ザクセン人**を制圧してカトリックに改宗させる

③東方から侵入した〔　　　　　　　　　　　〕を撃退する

④イベリア半島の後ウマイヤ朝と戦う

⑤広大な領地を効率的に支配するため，在地の有力豪族を地方長官である〔　　　〕に任命して治めさせた

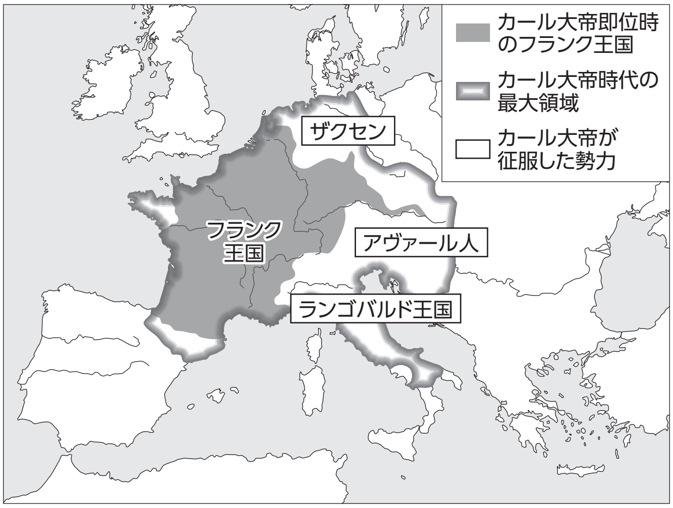
→地方長官の監督には中央から〔　　　　　〕を派遣

⑥イングランドから〔　　　　　　　　〕などの学者を宮廷に多数招き，ラテン語による文芸復興運動〔　　　　　　　　　　　　　〕をおこした

⑦アッバース朝全盛期のカリフである**ハールーン＝アッラシード**と使節を交換

⑧800 年，ローマ教皇〔　　　　　　〕から**ローマ皇帝**の帝冠を授けられ西ローマ帝国の復活が宣言された

→「〔　　　　　　　　　　〕」は，ローマ文化とローマ＝カトリック教会にゲルマン人が融合した西ヨーロッパ世界の誕生を象徴し，ビザンツ帝国からの独立を意味する



カール大帝の勢力範囲

まとめ　クローヴィスはローマ人を取り込むため，アタナシウス派に改宗した。
外征で大きな功績をあげたカールに対し，ローマ教皇はフランク王国の権威を後ろ盾とするため，カールは帝冠を受けた。

第７講 PART２ 確認問題

1 ローマ＝カトリック教会と首位権を争うようになった教会はどれか。

① イェルサレム教会　② アレクサンドリア教会
③ コンスタンティノープル教会　④ ギリシア正教会

2 フランク王国の建国者クローヴィスが改宗したキリスト教の宗派はどれか。

① アリウス派　② アタナシウス派
③ ネストリウス派　④ 単性論派

3 フランク王国宮宰のカール＝マルテルの子，ピピンが開いた王朝はどこか。

① メロヴィング朝　② ノルマン朝
③ ザクセン朝　④ カロリング朝

4 西ヨーロッパを統一したフランク王国のカール大帝が教皇レオ３世から授けられた帝冠はどれか。

① ローマ皇帝　② イギリス国王
③ フランス皇帝　④ ランゴバルド国王

5 732 年にフランク王国がイベリア半島から侵入したイスラーム軍を破った戦いを何というか。

① タラス河畔の戦い　② カタラウヌムの戦い
③ トゥール・ポワティエ間の戦い　④ レヒフェルトの戦い

6 756年にローマ教皇との関係を深めるために，獲得したラヴェンナ地方を献上したフランク王国の国王はだれか。

① クローヴィス　② カール＝マルテル
③ ピピン　④ カール大帝

7 カール大帝が地方の有力豪族に任命した官職はどれか。

① 侯　② 公
③ 伯　④ 市長

8 カール大帝が学者を宮廷に多数招いて奨励した文芸復興運動を何というか。

① ルネサンス　② カロリング＝ルネサンス
③ リバイバル　④ ヘレニズム

第７講　PART２　確認問題　解答

1 解答：④　**ギリシア正教会**が司教が教皇を自称する**ローマ＝カトリック教会**と教会の首位権を争うようになった。

2 解答：②　496年にフランク王国の建国者クローヴィスは正統とされた**アタナシウス派**に改宗した。

3 解答：④　カール＝マルテルの子，ピピンはメロヴィング朝を廃して**カロリング朝**を開いた。

4 解答：①　カール大帝は教皇から「西ローマ帝国」の復活を意味する**ローマ皇帝**の帝冠を授けられた。

5 解答：③　フランク王国はイベリア半島から侵入したイスラーム軍を**トゥール・ポワティエ間の戦い**で破った。

6 解答：③　ランゴバルド王国から獲得したラヴェンナ地方を教皇に献上したのは**ピピン**で「ピピンの寄進」と呼ばれる。

7 解答：③　カール大帝は地方の有力豪族を**伯**に任命し，現地を治めさせて集権的に統治した。

8 解答：②　カール大帝が奨励した文芸復興運動は**カロリング＝ルネサンス**と呼ばれる。